

2026年度	科目名	発達障害教育支援方法特論
	英語名	Advanced Seminar on Educational Support Methods for Developmental Disabilities
	科目属性	専門科目B群
	担当教員	阿部 利彦
	単位数	2単位(SC 0単位)

【授業の目的・ねらい】

【授業概要】

子どもの多様性を重視し、インクルーシブな学びの場を作るためには、特別支援教育、教育相談、生徒指導の枠を超えた教員間の連携、各専門機関との連携、保護者や家族との協力体制が必要となる。その連携を土台に学校生活の中でこまり感がある児童・生徒を支えるための様々なアプローチを学び、子どもたちの力を引き出す、自立に向けた支援をライフステージを見据えて検討する。

【授業の到達目標】

この授業の具体的な到達目標は、以下の3つである。

- 1多様性を重視した学びの場づくりのためのポイントを理解する
- 2子どものこまり感に合わせた様々な支援方法を理解する
- 3子どもと家族を支えるための連携のあり方を理解する

【授業計画】

全15回の授業計画は以下のとおりである

- 第1回 特別支援教育と教育相談・生徒指導をつなぐ連携のあり方
- 第2回 感覚統合の視点で子どもの「つまずき」をとらえる
- 第3回 授業のユニバーサルデザインからインクルーシブデザインへの転換
- 第4回 発達心理学と発達支援
- 第5回 発達障害のある成人の支援
- 第6回 思春期・青年期の支援
- 第7回 保護者・家族への支援
- 第8回 通級指導教室で行う支援～アセスメントから教材づくりまで
- 第9回 通常学級における学級経営と集団指導
- 第10回 保育現場でのアセスメントと支援
- 第11回 子どもと家族の関係を調整する支援
- 第12回 個別の支援と学級支援の実践
- 第13回 合理的配慮と基礎的環境整備の実践

第14回 教員間の理解を深める取り組み

第15回 ライフステージを見据えたかかわりとは

科目修得試験

**【評価方法】**

評価については、レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)を総合しての評価となる。

**【教科書】**

1. 阿部利彦.(2017).クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイルV3対談編,金子書房.

**【参考図書】**

1. 阿部利彦.(2009).クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイル,金子書房.

2. 阿部利彦.(2012).クラスで気になる子の支援ズバツと解決ファイルNEXT LEVEL,金子書房.

3. 文部科学省 (2017)『特別支援学校幼稚部教育要領 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領』